



## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月22日

上場取引所 東

上場会社名 日本オラクル株式会社

コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 社長 最高経営責任者 (氏名) 遠藤 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	32,694	9.9	8,984	18.3	8,984	17.2	5,280	16.7
23年5月期第1四半期	29,738	15.5	7,592	△8.9	7,666	△9.2	4,522	△6.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年5月期第1四半期	41.55	—
23年5月期第1四半期	35.59	35.58

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
24年5月期第1四半期	85,464	41,934	41,934	48.1	48.1	323.29
23年5月期	132,982	86,176	86,176	64.2	64.2	671.67

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 41,087百万円 23年5月期 85,364百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年5月期	—	70.00	—	390.00	460.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	72.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	146,000	10.0	38,600	3.8	38,500	3.2	22,800	3.3	179.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社では年次での業績管理を実施しているため、第2四半期累計期間の業績予想の記載を省略しております。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期1Q	127,097,471 株	23年5月期	127,097,471 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年5月期1Q	4,935 株	23年5月期	4,935 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期1Q	127,092,511 株	23年5月期1Q	127,089,956 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

#### ① 業績の概要

当第1四半期累計期間（以下「当四半期」）の売上高は32,694百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は8,984百万円（前年同期比18.3%増）、経常利益は8,984百万円（前年同期比17.2%増）、四半期純利益は5,280百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

当四半期における日本国内の経済環境は、東日本大震災の影響等により厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直し等により企業活動には持ち直しの動きも見られます。

このような状況において、当社は、本年6月30日に発表いたしました中期経営計画の2つのイニシアチブである、成長戦略「Growth Initiatives」と経営基盤整備の「Foundation」に取り組んでおります。お客様との関係をより深め、企業活動を支えるITソリューションを一貫して提供できる総合的なITベンダーとしての当社の価値をお客様に訴求し、当社のさらなる成長を実現すべく様々な施策を進めてまいりました。

#### ② 報告セグメント別の状況

##### [ソフトウェア・ライセンス]

売上高は7,895百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用されるソフトウェアの新規ライセンスを販売しており、データベース管理ソフトウェアおよび高い信頼性と拡張性のあるIT基盤を実現する各種ミドルウェア製品の新規ライセンスを販売する「データベース&ミドルウェア」、ERP等の業務アプリケーションの新規ライセンスを販売する「アプリケーションズ」から構成されます。

データベース&ミドルウェアの売上高は7,341百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

データベース統合、経営情報基盤の刷新、災害対策やBCP(事業継続基盤)構築等の案件を確保し、また、クラウド環境構築やExadata等のEngineered Systemsの提案を積極的に推進し、主力のデータベース管理ソフトウェア、アプリケーションサーバーを中心としたミドルウェア製品、Exadata用ソフトウェア等が好調に推移いたしました。本年6月にはビジネス・インテリジェンス製品の最新版「Oracle Business Intelligence R11.1.1.5」を提供開始いたしました。

アプリケーションズの売上高は、経済環境やIFRS(国際会計基準)の適用に関する金融担当大臣談話等により、お客様の投資姿勢に慎重さが見られたこともあり、553百万円（前年同期比50.0%減）となりました。本年7月には中堅企業向けERP製品「JD Edwards EnterpriseOne」をクラウドで提供するサービスをパートナー企業との協業により開始いたしました。

##### [アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は16,054百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

当セグメントは、ソフトウェア・ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

お客様のIT環境を支え、維持管理コストを削減し、企業価値向上につながる「My Oracle Support」のサービス内容の訴求やパートナー企業との協業推進等により、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移いたしました。

### [ハードウェア・システムズ]

売上高は5,004百万円（前年同期比49.3%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、Exadata等Engineered Systemsのハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は2,684百万円（前年同期比1,368.3%増）となりました。従来から取り扱っていたEngineered Systems製品の販売増に加え、旧サン・マイクロシステムズ（以下サン）株式会社がパートナー企業と締結していた販売代理店契約の当社への移管および変更手続が前年度中に完了したことに伴い、サンのサーバーやストレージ製品の販売が増加いたしました。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は2,319百万円（前年同期比26.8%減）となりました。サポート対象期間終了（EOSL）製品の増加により前年同期比減少となりましたが、予想の範囲内で推移しております。

### [サービス]

売上高は3,739百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

当セグメントは、クラウド型サービスや予防保守サービス等の高付加価値サービスを提供する「クラウドサービス\*（旧アドバンスト・サポート）」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」から構成されております。

クラウドサービスの売上高は1,028百万円（前年同期比27.7%増）となりました。付加価値型サービスのAdvanced Customer Servicesがハードウェア向けを中心に好調に推移いたしました。

エデュケーションサービスの売上高は474百万円（前年同期比15.5%増）となりました。新卒向けの研修が好調に推移いたしました。また、本年8月よりオープンソースデータベース「MySQL」の技術者認定資格試験の日本語版を提供開始いたしました。

コンサルティングサービスの売上高は2,236百万円（前年同期比15.5%減）となりました。データベース&ミドルウェアのコンサルティング案件は堅調に推移いたしました。アプリケーションズのコンサルティングの一部案件が震災の影響によりキャンセルされたこともあり売上高が減少しました。

\* クラウドサービス：従来のアドバンスト・サポートから名称を変更いたしました。

## ＜報告セグメント別売上高の状況＞

	平成23年5月期 第1四半期		平成24年5月期 第1四半期			平成23年5月期	
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	対前期比 %	金額 百万円	構成比 %
データベース&ミドルウェア	6,231	21.0	7,341	22.5	17.8	33,706	25.4
アプリケーションズ	1,106	3.7	553	1.7	△50.0	4,960	3.7
ソフトウェア・ライセンス	7,337	24.7	7,895	24.1	7.6	38,666	29.1
アップデート&プロダクト・サポート	15,185	51.1	16,054	49.1	5.7	61,924	46.7
ソフトウェア関連	22,523	75.7	23,949	73.3	6.3	100,591	75.8
ハードウェア・システムズ・プロダクト	182	0.6	2,684	8.2	1,368.3	3,217	2.4
ハードウェア・システムズ・サポート	3,168	10.7	2,319	7.1	△26.8	12,219	9.2
ハードウェア・システムズ	3,351	11.3	5,004	15.3	49.3	15,437	11.6
クラウドサービス	804	2.7	1,028	3.1	27.7	3,838	2.9
エデュケーションサービス	411	1.4	474	1.5	15.5	1,728	1.3
コンサルティングサービス	2,646	8.9	2,236	6.8	△15.5	11,129	8.4
サービス	3,862	13.0	3,739	11.4	△3.2	16,695	12.6
合計	29,738	100.0	32,694	100.0	9.9	132,724	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

## (2) 業績予想に関する定性的情報

平成23年6月30日に発表いたしました平成24年5月期の業績予想より変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,830	20,322
受取手形及び売掛金	22,093	12,746
有価証券	2,003	5,004
商品及び製品	0	0
短期貸付金	37,986	—
その他	3,671	3,324
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	88,584	41,396
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,114	14,886
土地	26,057	26,057
その他（純額）	1,444	1,347
有形固定資産合計	42,615	42,291
無形固定資産		
投資その他の資産	35	31
その他	1,757	1,754
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,747	1,744
固定資産合計	44,398	44,068
資産合計	132,982	85,464
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,203	5,621
未払金	5,222	3,416
未払法人税等	8,016	3,790
前受金	21,371	27,181
賞与引当金	2,144	872
その他の引当金	40	81
その他	1,715	2,474
流動負債合計	46,715	43,438
固定負債		
その他	91	91
固定負債合計	91	91
負債合計	46,806	43,529
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,301	22,301
資本剰余金	33,739	5,652
利益剰余金	29,365	13,166
自己株式	△22	△22
株主資本合計	85,383	41,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19	△10
評価・換算差額等合計	△19	△10
新株予約権	812	847
純資産合計	86,176	41,934
負債純資産合計	132,982	85,464

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	29,738	32,694
売上原価	15,334	16,612
売上総利益	14,404	16,081
販売費及び一般管理費	6,811	7,096
営業利益	7,592	8,984
営業外収益		
受取利息	38	23
有価証券利息	0	1
その他	43	32
営業外収益合計	82	57
営業外費用		
その他	8	58
営業外費用合計	8	58
経常利益	7,666	8,984
特別利益		
新株予約権戻入益	11	10
投資有価証券売却益	17	4
特別利益合計	28	14
特別損失		
事業構造改善費用	61	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
特別損失合計	85	—
税引前四半期純利益	7,609	8,999
法人税等	3,086	3,719
四半期純利益	4,522	5,280

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

## (4) セグメント情報

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェ ア・ライセ ンス	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,337	15,185	3,351	3,862	29,738	—	29,738
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,337	15,185	3,351	3,862	29,738	—	29,738
セグメント利益	166	8,067	283	598	9,116	△1,523	7,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,523万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェ ア・ライセ ンス	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,895	16,054	5,004	3,739	32,694	—	32,694
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,895	16,054	5,004	3,739	32,694	—	32,694
セグメント利益	609	8,461	323	750	10,145	△1,161	8,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,161万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年8月25日開催の第26回定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金および利益準備金額を減少し、それぞれ「その他資本剰余金」、「その他利益剰余金」に振り替える議案が決議されました。これに伴い、資本準備金が28,087百万円、利益準備金が1,000百万円減少しております。また、本議案の承認を前提として、平成23年7月21日開催の取締役会において決議されていた期末配当(1株あたり390円、うち普通配当93円、特別配当297円)を平成23年8月26日に支払った結果、利益剰余金が21,478百万円、資本剰余金が28,087百万円減少しております。